



海上安全だより

海難“0”を目指して！！

第一管区海上保安本部

交通部

平成23年4月 No.21

東北地方太平洋沖地震に被災されました方々にお見舞い申し上げあげるとともに、一日も早い復興を祈念しております。

さて、北海道の海難は年間約150隻で推移しており、その6割は漁船によるものです。

昨年、漁船の死亡・行方不明者は9名でしたが、今年はずでに**2名の死亡者、3名の行方不明者**となっています。二度と戻らない命を大切にできるのは「あなた」です。

今一度、基本に立ち返り、無理のない操船、操業を心がけてください。

◆平成23年1月28日 恵山岬南西沖

ごっこ刺し網漁船 (2名乗組、0.9トン)

所属漁協から、漁船が予定時刻を過ぎても帰港しないとの118番通報がありました。当庁及び僚船により捜索した結果、僚船が転覆した船体と乗組員である夫婦2名を発見しました。当時うねりは最大2メートルあり、海は荒れ模様でした。

◆平成23年3月1日 長万部町国縫沖合

えびかご漁船 (3名乗組、4.9トン)

所属漁協から、漁船が転覆したとの118番通報がありました。該船乗組員から家族への携帯電話を介して漁協から当庁へ通報されたもので、当庁他多数の勢力により捜索しましたが、残念ながら、乗組員は3名共いまだ発見されておられません。

大切な命を守るために…3つの基本を忘れずに！！

「海のもしもは118番」「ライフジャケットの常時着用」

「携帯電話などの連絡手段の確保」

GPS機能付き携帯電話から118番通報を行うと、通報者の正確な位置が海上保安庁に通知されます。

「もし 船がでなかったら」
「もし 風邪をひいていたら」
そんな「もしもあの時」と
「何故」を繰り返し悔やんで。
あの日は気象も悪く、年末で
他の船は休みだったのに
十八名の方々が亡くなり
沈んだあの船の中で
あなたが眠っているのも
その場所がすぐそこだという事もわかっているのに
家に連れて来れなくてごめんなさい
～中略～



海難事故がなくなりますように心から祈っております。

心の中のアルバム - 漁船海難遺児と母の文集 -
財団法人 漁船海難遺児育英会編 より抜粋

(AIS) 函館地区にAIS陸上局が増設されました。

第一管区海上保安本部におけるAISの運用は、青森県側の尻屋崎及び龍飛崎に設置されている2局のAIS陸上局を用いて津軽海峡を航行する船舶の安全確保を図ってきましたが、4月1日函館山に当管区で20局目となるAIS陸上局を設置し運用を開始することになりました。

これにより、津軽海峡を通航する船舶の一層の安全性の向上を図ることができるようになります。



AIS搭載船舶へのお願い

- (1) AIS装置の電源は常時ONにし、操作方法を確認しておきましょう。
- (2) 自船の位置情報が正しく入力されているか定期的に確認しましょう。
- (3) 船舶データ、船舶の動静(航行中、錨泊中等)、目的地およびETA(到着予定時刻)の航海関連情報を正確に入力しましょう。
- (4) AISメッセージの受信時に、受信音が聞こえるようにしましょう。
- (5) 連絡手段確保のためVHF(CH16)を常時聴取しましょう。

ご要望、ご意見は第一管区海上保安本部交通部まで

TEL 0134 - 27 - 0118

(内線: 2615、2623)

次号へ続く～